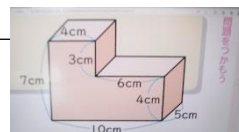


# のびのび学習だより

## 表現する力の育成をめざして

今年度も、算数科を窓口にも、子どもの思考や表現する力を促す数学的活動を充実させ、日常生活と算数をつなぐ授業展開を工夫し、授業改善をめざしています。「まとめ」「適用問題」「振り返り」の時間の確保や再構築の時間の充実を図ることで「表現する力」をつけていくために、「まとめ」「適用問題」「振り返り」の時間の確保や再構築の時間の充実を図っています。また、各教科において、「読む・書く・話す・聞く」の言語力向上のための活動をさらに日常的に継続し、習慣化を目指します。



### ☆5年算数科「直方体や立方体のかさの表し方を考えよう」

#### 『～複合図形の体積の求め方を考えよう～』

公式だけでは簡単に求めることができない複雑な形の体積の求め方を考えました。



自力解決



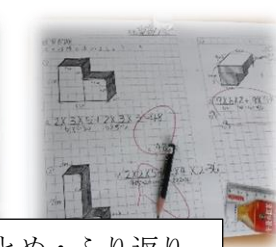
意見交流



再検討



全体交流



まとめ・振り返り

意見交流では、自分の考えたことを友達に話します。何人もの友達と交流していくことで、考え方が深まったり、広がったりします。そして、自分の考えを再構築します。

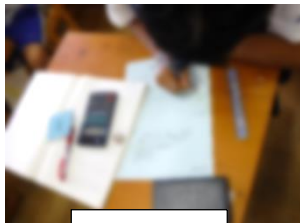
学習のまとめとして、練習問題に取り組みます。(適用問題)

### ☆6年算数科「およその面積や体積」

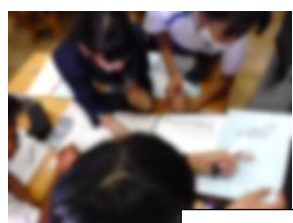
#### 『伝説を解明せよ～琵琶湖と淡路島の大きさ～』

この単元では、身の回りにある形や面積、体積について、およその値を求める方法を学習します。実際の生活の中は、このおよその値であふれています。見積もる力は重要です。

本時では、琵琶湖と淡路島の伝説を聞き、2つの形や大きさを比べることで解決できるのではないかと見通しを持ちました。琵琶湖や淡路島は曲線がありそのままでは、面積が求められないため求積可能な形や方眼を使っておよその面積を求める学習を行いました。



自力解決



グループ交流

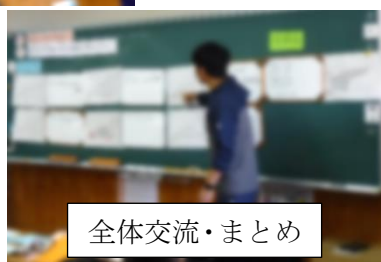


図形の切り方や方眼の数え方、同じ求め方で数字が違うなど様々な求め方が出され、全体で交流しました。

振り返り

これまでとは違う形の面積を求めるのに試行錯誤しながら考えていました。

似た考え方をしている3~4人のグループで交流し、最適な求め方を話し合いました。



全体交流・まとめ

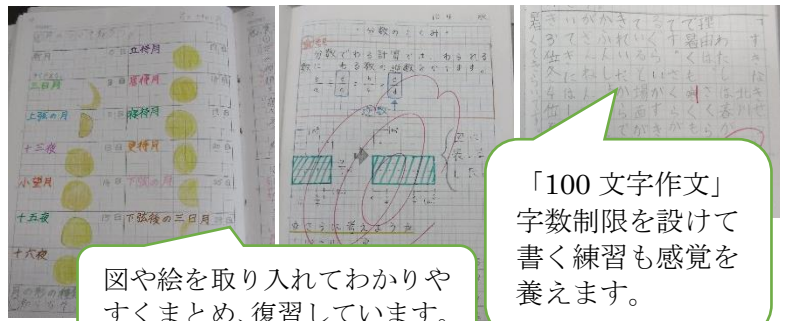
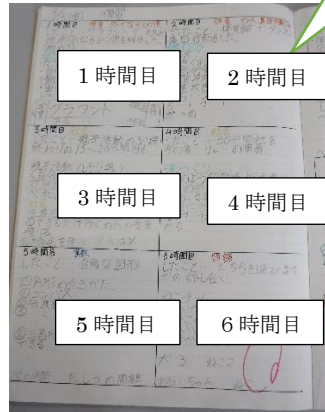
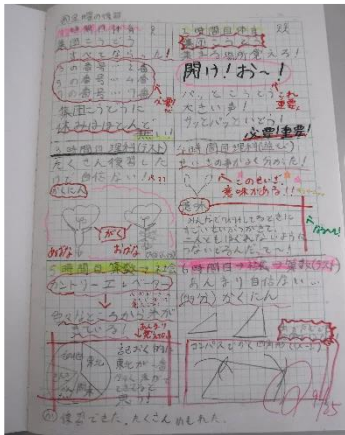
身の回りにある形について、およその面積の求め方を学習したことで日常生活に生かしていけることも確認。

# 子どもの学習を調整する力

子ども自身が自分の学習を見直し、改善していく力。このような力をつけていくためには、学校の授業とともに家庭での学習習慣の定着が欠かせません。そこで今年度も多賀中学校の定期テスト前の期間を『家庭学習がんばろうウィーク』として宿題や自主勉強を計画的に行う強化週間にする予定です。ご家庭でもお声かけしていただくなどご協力をお願いいたします。(後日お便り配布)

## ☆自主勉強ノートの紹介

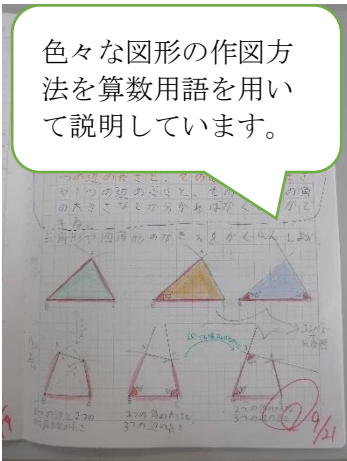
1~6時間目までの学習をすべて振り返り、復習やまとめをしています。中学校でもされているようです。



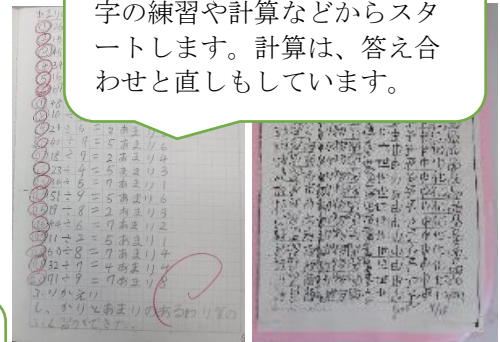
「100文字作文」  
字数制限を設けて書く練習も感覚を養えます。

図や絵を取り入れてわかりやすくまとめ、復習しています。

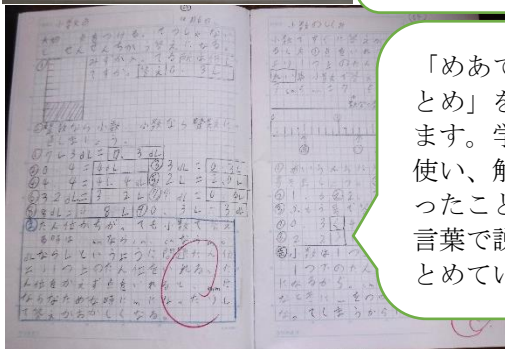
色々な図形の作図方法を算数用語を用いて説明しています。



自主勉強初心者には、苦手な漢字の練習や計算などからスタートします。計算は、答え合わせと直しもしています。

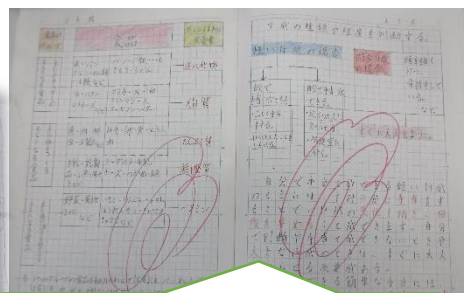


テストに向けて自分の苦手な分野の復習をしています。家庭科や保健などの内容もバラエティに富んでいます。



「めあて」や「まとめ」を書いています。学習用語を使い、解説や分かったことを自分の言葉で説明し、まとめています。

計算や漢字の練習だけでなく、興味のあることについて本や参考書などの図書資料や新聞などで調べたことをもとに自主学習し知識を広げることも・・・



低学年はまず、家庭学習に丁寧に取り組み、学習習慣を確立することが大切です。中・高学年は、自分自身の学習を振り返り、苦手なものや授業で習ったことで練習の必要なもの、復習・予習など計画的に学習を積み重ねることが大切です。また、興味のあることを探求することもおすすめします。自分自身で学習する力は簡単に身につくものではありません。『継続は力なり』です。